

# み言葉の分かち合いとは

## 「聖書を読む」(第二段階)

### 1. 聖書の開き方

霊的な雰囲気壊さず、参加者全員が安心して正しい朗読箇所を開けるようにするため、進行係は、聖書の朗読箇所を、書の内容、章、節の順序で説明する。

参加者の積極的な参加を促すため、進行係は読む人を指名せず、誰かが自発的に読み始めるのを待つ。大きな声で、気持ちをこめ、祈るような感じで朗読すると、聞いている人にはそれが神の声、キリストの言葉として響くようになる。

同じ聖書の箇所を違った観点からながめられ、その内容をより深く理解できるようになる可能性があるため、2度目の朗読の際には別の翻訳聖書を朗読することが勧められている。

### 2. 聖書を声に出して読む理由

「み言葉の分かち合い」で繰り返し聖書を読むことには、私たちとともにおられる神(キリスト)との出会いを体験し、そのうちに留まることを可能にするという目的がある。

「み言葉の分かち合い」では、進行係、司祭、シスター、誰であっても参加者の一人として、同じ立場で参加する。進行係は、参加者全員を同じ兄弟・姉妹として平等に扱い、一人ひとりが自分のタレントを十分に活かせるように心がける。



### 3. 朗読箇所

聖書は、神のみことばですから、「み言葉の分かち合い」で朗読する聖書の箇所は、どこでも良いが、例えば、

①班(地区)集会の場合

次の主日の福音箇所を活用する。

②小教区評議会等の会合の場合

事前に会議の目的にふさわしい箇所を選んでおく。

### 4. 聖書をスムーズに開くために

スムーズに朗読箇所を開くためには、聖書全体の目次(各書の順序)を覚えながら、自分で開く練習をすることが必要。

「み言葉の分かち合い」では、翌週の主日の福音箇所を用いる場合が多くなると予想されるため、まずは福音書(マタイ・マルコ・ルカ・ヨハネ)の箇所をすぐに開けるように。